



オリーブ便り Olive News

2020.08.01

No.434



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 田宮 隆

基本理念

患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

七夕かざりを病院に設置しました

香川大学医学部 医療支援課

令和2年7月1日～7月7日まで病院外来棟1階総合地域医療連携センター前廊下に「七夕かざり」を飾りました。

今年は特に新型コロナウイルス感染の収束を願い、可愛い「アマビエ」のイラストもお目見え、色とりどりの花々と数多くの願いが書かれた短冊が風になびいて、ひとときの涼を提供することができました。

～新型コロナウイルス感染の収束とみなさまの願いがかないますように～



緩和ケアは「がんの治療」と一緒に

香川大学医学部附属病院 緩和ケア認定看護師 池田 由美子 今出 政代 植松 和世

緩和ケアというと「がん治療ができなくなった人への医療」「がんの終末期に受けるもの」と誤解し、「まだ緩和ケアを受ける時期ではない」と思い込んでしまう患者さんやご家族は少なくありません。

しかし、緩和ケアは病気を診断されたときから必要に応じて行われるものです。

例えば、痛みはがんの早い時期にも進んだ時期にもみられる症状です。化学療法・放射線治療では食欲の低下、吐き気やだるさなどの副作用が起こることもあります。がんと診断されたときや治療が思うように進まないときなどは、不安や心配事・気分の落ち込み・やり場のない怒りなど心の痛みを感じるでしょう。また、周囲との関係性や仕事、役割が変化することにより日常生活が妨げられることもあります。ご家族も、これからどうなるのか、どのように接したらよいのかなど様々なつらさやストレスを感じます。これらの「つらさ」を和らげることは、がん治療に取り組む精神力、体力をつけてくれますし、以前と同じように日常生活を送ることができます。

当院には、緩和ケアの専門チーム（医師・看護師・薬剤師・心理士・栄養士・ソーシャルワーカー・理学療法士・歯科衛生士からなる）があり、入院、通院を通じてケアを受けることができます。一人で悩む必要はありません。患者さんとそのご家族が、病気と上手く付き合い自分らしい生活を送ることができるよう、大切にしていることやどのように生活していきたいか意向を伺いながら、担当医師や看護師と協力して支援していきます。



(1) 尿潜血で陽性を指摘されたことはありませんか？

血尿のスクリーニング検査には尿試験紙法が用いられ、1+以上で陽性と診断されます。この検査は簡便ですが、その診断には誤りが少なくありません。そのため、尿潜血が陽性の場合には尿沈渣という検査が必要となります。尿沈渣は、顕微鏡で尿中に赤血球が混入しているかどうかを診断する検査です。

尚、尿試験紙法の誤りを減らすために、1) 検査前日のビタミン剤の服用を控えることが重要です。また、運動にも影響されることがあるために、2) 検査前日の激しい運動を控えること、菌や分泌物の混入を減らすために、3) 最初の1/3～1/2の尿は取らずに、その後の尿(中間尿)を検査することが推奨されます。

(2) 血尿の頻度と主な原因

血尿とは尿の通り道、つまり腎、尿管、膀胱や前立腺、そして尿道のいずれかの異常で生じる重要な症候です。顕微鏡的血尿(目で見て分からないものの尿沈渣で診断される血尿)の頻度は、20歳代で0.64%、30歳代で1.68%、そして40歳を超えると3～4%台と報告されており、加齢とともにその頻度は上昇します。

血尿を呈する病気は、腎炎・膀胱炎・尿路結石症などの良性疾患と腎がん・尿路上皮がん(腎盂・尿管・膀胱がん)などの悪性疾患に大別され、そのうち尿路上皮がんは、顕微鏡的血尿で3～5%、肉眼的血尿(目で見てわかる血尿)で23%もの人に発見されると報告されています。血尿に加えて、60歳以上の男性、喫煙歴や化学薬品を扱う仕事に従事した方など尿路上皮癌の危険因子を有する方は、必ず泌尿器科を受診すべきです。

(3) 尿路上皮がんの予後

本邦のがん統計によると、尿路上皮がんは、全悪性疾患のうち男性で約10%、女性では約3%と報告されており、その大半は膀胱がんです。膀胱がんは、早期発見・治療できれば完治・膀胱温存できます。しかし、発見が遅れ、膀胱の筋層にまで浸潤している場合には、膀胱全摘除術が必要です。さらに、転移がある場合には、抗がん剤治療が行われるものの、その平均生存期間は1年前後と非常に厳しい状況が予測されます。

(4) 香川大学における取り組み

香川大学泌尿器科では、尿路上皮がんの治療成績を向上させるべく、先進的な検査や治療を積極的に取り入れています。具体的には、1) DNA FISHプローブキットを用いた染色体・遺伝子検査、2) 蛍光イメージング技術を用いた内視鏡手術(図1)。3) ロボットを利用した膀胱全摘除術(図2)、4) 免疫チェックポイント剤などの新規の抗がん剤、5) 臨床試験(治験)を介した未承認の薬剤の提供などで、これらの取り組みを介して香川大学における尿路上皮がんの治療成績は飛躍的に向上しています。

「最後まで諦めない、世界標準の泌尿器がん診療を皆様にご提供いたします。」

図1: 蛍光イメージング技術を用いた膀胱がんの可視化
(従来見えなかった膀胱がんが、蛍光イメージング技術にて膀胱がんを赤く発光させることで容易に同定できるようになります)

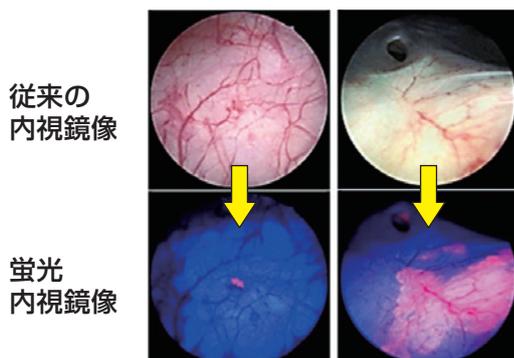


図2: 香川大学医学部附属病院ロボット手術室



※第55回イキイキさぬき健康塾(令和2年2月2日開催)の講演内容を要約したものです。

高齢化が急速に進む我が国において認知症の患者さんは増え続けており、高齢者の4人に1人が認知症もしくはその予備軍と言われていています。認知症医療も日々進歩しており、なかでも画像検査は現在の認知症診療において欠かせない検査の1つとなっています。認知症の画像検査にはたくさんの種類がありますが、CTやMRIといった脳の形をみる「形態画像検査」と、SPECT(スペクト)やPET(ペット)といった脳の働きをみる「機能画像検査」の2つに大きく分かります。

形態画像検査ではおもに脳の萎縮(しぼみ)を評価することができます。最も患者数の多いアルツハイマー型認知症のほかにも認知症にはさまざまな種類があり、それぞれ萎縮の見られる部位に特徴があるため、患者さんがどのタイプの認知症なのかを診断することが出来ます。早期の段階では人の目で判断できないような僅かな変化であることが多いですが、正常な人の脳と比較することで萎縮の見られる部位や程度を正確に評価できる方法が実用化されています。

機能画像検査では脳の働きを評価することができます。SPECT検査では脳の血流、PET検査では脳の代謝を評価することができ、認知症の患者さんでは特定の部位で血流や代謝の低下が見られます。血流や代謝の変化は萎縮が見られるより前から認められることが知られており、より早期での診断が可能となります。また最近では、アルツハイマー型認知症の原因と考えられているアミロイドという物質が脳に溜まっているかどうかを評価できるPET検査も研究段階ではありますが行われるようになってきています。実用化されれば症状の現れる10年以上前から診断が出来るようになる可能性があり、今後の発展が大いに期待されています。

認知症は原因によって治療方法が異なっており、速やかに適切な治療を開始することが症状の進行を最低限に抑えるために必要とされています。画像検査は無症状もしくは症状の軽いうちに高い精度で異常を見つけることが出来るため、早期に正しい診断をするために非常に重要な役割を担っています。

毎日新聞「四国健康ナビ」平成31年2月26日掲載分

関係医療機関 御中

香川大学医学部附属病院

日本の健康保険資格を有していない外国人患者の診療について(通知)

当院では、2019年10月1日から、日本国内で有効な公的医療にかかる健康保険に加入しておらず、外国に生活の拠点を有する外国人患者さんの診療報酬、入院時食事療養費等の請求については、診療報酬点数に準拠して1点につき30円を請求させていただくことになっています(別途消費税)。

また、海外在住で、日本の健康保険資格を有していない日本人患者さんの診療についても、同様の取り扱いとなります。

当該患者をご紹介いただく際は、診療費が高額になることがありますので、ご留意の程、宜しくお願いたします。



詳しくはこちら

新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、**12月末まで中止**とさせていただきます。
新しい日程が決まり次第改めてご案内申し上げます。

『医療被ばく低減施設』の認定取得について

香川大学医学部附属病院 放射線部

2020年4月1日付で、香川大学医学部附属病院が『医療被ばく低減施設』として認定を受けました。これは、適正な放射線管理のもと医療被ばくの低減を実践している施設に対し、公益社団法人 日本診療放射線技師会が認定するものです。放射線部では約2年前より準備を重ね、書類審査及び訪問審査を経て今回の認定取得となりました。現在、全国で124施設が認定されており当院は125番目となりますが、国立大学病院としては全国に先駆けて最初の認定施設であり、また四国4県の医療施設でも初めての認定施設となります。

折しも認定日は、法令改正に伴い“診療用放射線の安全管理”が義務化される日となりました。患者さんに対する医療被ばくの説明と、線量管理・記録が必須となるなかで、こうした第3者評価機関の認定を取得できたことは、良質・安全な医療の提供を理念とする当院にとって、大変重要な事だと考えています。

今後も、安心して安全な放射線診療を提供できるよう、職員一丸となって医療被ばく低減に努めてまいります。



認定証と認定プレート



左から、門田診療放射線技師長、柴田放射線部長、田宮病院長、笹川前診療放射線技師長

臨床研究に関するご案内

香川大学医学部 倫理委員会委員長

香川大学医学部附属病院 治験審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院 臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織（内視鏡検査で検査のために採取した組織等）又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究（研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究）に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究（過去の事象について調査する研究）の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー 2020.8~2020.9月 予定表

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となるイベントがあります

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
9/13 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾	総務課	(087)891-2008
9/17 木	14:00~15:00	西病棟1階カンファレンスルーム	「がん患者サロン」	がん相談支援センター	(087)891-2473
9/27 日	13:30~16:30	香川県社会福祉総合センター 7階第2中会議室	日本肝臓学会 肝炎医療コーディネーター研修会	消化器・神経内科学	(087)891-2156

編集委員会 (50音順)

(2020年7月現在)

阿部(看護)、荒井(検査)、井町(外来)、樫原(管理)、小坂(薬剤)、筒井(経営企画)、常森(病棟)、仁尾(医療支援)、前川(医事)、南野(副病院長)、門田(放射線)、横井(医療情報)、横川(総務) [委員長 田宮病院長]